
在宅看護論

前馬 理恵 教授
谷野 多見子 講師
矢出 装子 助教

3年次前期・必修

1単位・30時間

【概要・目的】

本科目は、在宅療養者と家族を支える在宅看護について学ぶ。保健医療福祉制度や保健医療福祉機関との連携、および医療機関から在宅への継続看護の意義、地域包括ケアにおける看護の役割について学ぶ。

【到達目標】

- 1) 在宅看護の対象とそのニーズの特徴について理解する。
 - 2) 在宅看護過程の展開と看護サービスの質の管理について理解する。
 - 3) 保健医療福祉機関との連携の意義、保健医療福祉制度について理解する。
 - 4) 在宅移行支援および継続看護、地域包括ケアにおける看護の役割を理解する。
-

【内容・スケジュール】

- 1) 在宅看護の基盤、訪問看護ステーション
 - 2) 在宅看護を必要とする療養者と家族の特徴
 - 3) 地域包括ケアシステムにおける在宅看護
 - 4) 地域療養を支える保健医療福祉制度
 - 5・6) 対象に応じた在宅看護
 - 7) 在宅看護過程の展開
 - 8) 在宅療養者と家族の捉え方 1 (演習)
 - 9) 在宅療養者と家族の捉え方 2 (演習)
 - 10) 在宅療養者と家族のQOL (演習)
 - 11) 在宅における援助技術—測定・医療的ケア (演習)
 - 12) 在宅における援助技術—生活ケア (演習)
 - 13) 病院における地域連携の実際 (患者支援センターより)
 - 14) 在宅医療と訪問看護 (在宅医より)
 - 15) 在宅における看護管理、在宅看護の課題と展望
-

【評価】

筆記試験 (80%)、演習レポート (10%)、出席状況および授業への参加態度など (10%) により評価する。ただし、筆記試験は6割以上の得点を必要とする。

【教科書】

地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア 第7版 (臺有桂他編)

【推薦参考図書】

臺有桂他編「地域療養を支える技術」第1版メディカ出版
渡辺裕子監修「家族看護を基盤とした在宅看護論」日本看護協会出版会
押川眞喜子監修「写真でわかる訪問看護」インターメディカ
宇都宮宏子他編「看護がつながる在宅療養移行支援」日本看護協会出版会

【その他】